



I 第50週の発生動向 (2018/12/10~2018/12/16)

1. 水痘については、東地方+青森市保健所管内で**注意報**が発令され、三戸地方+八戸市保健所管内と五所川原保健所管内で**注意報**が**解除**されました。
2. 伝染性紅斑については、むつ保健所管内で**警報**が継続しています。
3. インフルエンザについては、県全体の定点当たり報告数が1.72で、前週の1.66とほぼ同数でした。保健所管内の定点当たり報告数は、東地方+青森市保健所管内で最も多く、次いで弘前保健所管内となっています。
4. 咽頭結膜熱については、五所川原保健所管内で定点当たり報告数が2.40となり、警報開始基準値(3)に近づいています。

II 第50週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

		東青 (東地方+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減 数
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科	インフルエンザ	32	2.46	35	2.33	12	0.80	15	2.14	17	1.89	1	0.17	112	1.72	4
小児科	RSウイルス感染症	3	0.38	2	0.22			2	0.40					7	0.17	-7
	咽頭結膜熱	6	0.75	6	0.67	4	0.40	12	2.40					28	0.67	3
	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	2	0.25	7	0.78	24	2.40	2	0.40	9	1.50	6	1.50	50	1.19	4
	感染性胃腸炎	25	3.13	15	1.67	56	5.60	28	5.60	22	3.67	12	3.00	158	3.76	-4
	水痘	8	1.00	2	0.22	8	0.80			3	0.50	1	0.25	22	0.52	-5
	手足口病	1	0.13					2	0.40	5	0.83			8	0.19	-5
	伝染性紅斑	1	0.13			4	0.40					14	3.50	19	0.45	-3
	突発性発しん	3	0.38	3	0.33	4	0.40	4	0.80	1	0.17	1	0.25	16	0.38	5
	ヘルパンギーナ									2	0.33			2	0.05	1
流行性耳下腺炎	1	0.13	2	0.22			2	0.40	1	0.17			6	0.14	-7	
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎	1	0.50	1	0.33	4	2.00							6	0.55	5
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															-1
	マイコプラズマ肺炎											6	6.00	6	1.00	-8
	無菌性髄膜炎															0

は警報、 は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

感染症の窓

百日咳 (五類全数把握対象疾患) 第2回

百日咳は、百日咳菌によって起こる急性の気道感染症です。名前のとおり激しい咳を伴う病気で、1歳以下の乳児、特に生後6ヵ月以下の子どもでは亡くなってしまうこともあります。成人が百日咳に感染した場合、咳が長期にわたって持続しますが、典型的な症状が少ないため、診断や治療が遅れがちです。しかし、菌の排出があり、周囲への感染源となってワクチン未接種の乳幼児を重症化させる可能性があるため、注意が必要です。

百日咳が全数把握疾患となった2018年第1週から第49週までの全国における報告数は、15歳未満が約72%を占めています(図)。

百日咳の予防には四種混合ワクチンの予防接種が有効です。ワクチンの定期予防接種は、生後3か月になってから複数回の接種を行います。詳しくは、かかりつけ医にご相談いただくか、お住いの市町村の予防接種担当課にお問い合わせください。

○詳しい情報はこちらをご覧ください [百日せき\(厚生労働省HP\)](#)

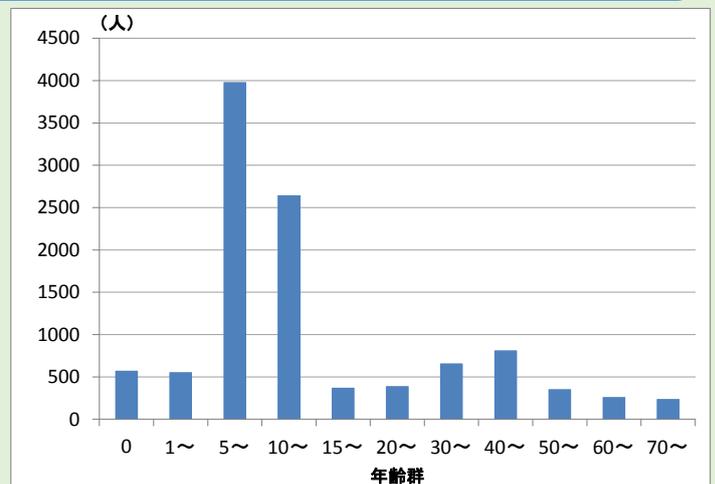


図: 全国における年齢区分別百日咳報告数 (2018年第1週~第49週まで)



Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核（二類全数把握対象疾患）：青森市5人、上十三2人、むつ1人（2018年計：206人）
- ・腸管出血性大腸菌感染症（三類全数把握対象疾患）：弘前1人（2018年計：35人）
- ・急性脳炎（五類全数把握対象疾患）：弘前1人（2018年計：3人）
- ・百日咳（五類全数把握対象疾患）：青森市1人、むつ4人（2018年計：82人）

Ⅳ 病原体検出情報 ※（ ）内は、検査材料及び検体採取日です。

重症熱性血小板減少症候群疑い患者（ふん便、咽頭ぬぐい液、11/30）

・・・アデノウイルス2型、ヒトライノウイルスC：弘前1人

RSウイルス感染症患者（鼻汁、11/8）・・・hRSウイルスA：弘前1人

Ⅴ 県内インフルエンザ情報（2018年第43週～2018年第50週）

- ・第50週の患者報告数は112人で、このうち迅速診断キットによる型別が報告されているのは112人【A型：112人、B型：0人】でした。

保健所管内別報告数（人）

週	43	44	45	46	47	48	49	50
保健所名								
東地方+青森市			8	8	39	45	47	32
弘前	9	9	26	10	21	35	25	35
三戸地方+八戸市				2	4	4	8	12
五所川原	1		1	5	3	4	18	15
上十三				5	10	22	10	17
むつ						1		1
合計	10	9	35	30	77	111	108	112

A型（迅速診断キットによる型別）(人)

週	43	44	45	46	47	48	49	50
保健所名								
東地方+青森市			8	8	38	45	47	32
弘前	9	9	24	10	21	34	25	35
三戸地方+八戸市				2	4	4	8	12
五所川原	1		1	5	3	4	17	15
上十三				5	9	22	10	17
むつ						1		1
合計	10	9	33	30	75	110	107	112

B型（迅速診断キットによる型別）(人)

週	43	44	45	46	47	48	49	50
保健所名								
東地方+青森市								
弘前			2			1		
三戸地方+八戸市								
五所川原							1	
上十三								
むつ								
合計	0	0	2	0	0	1	1	0

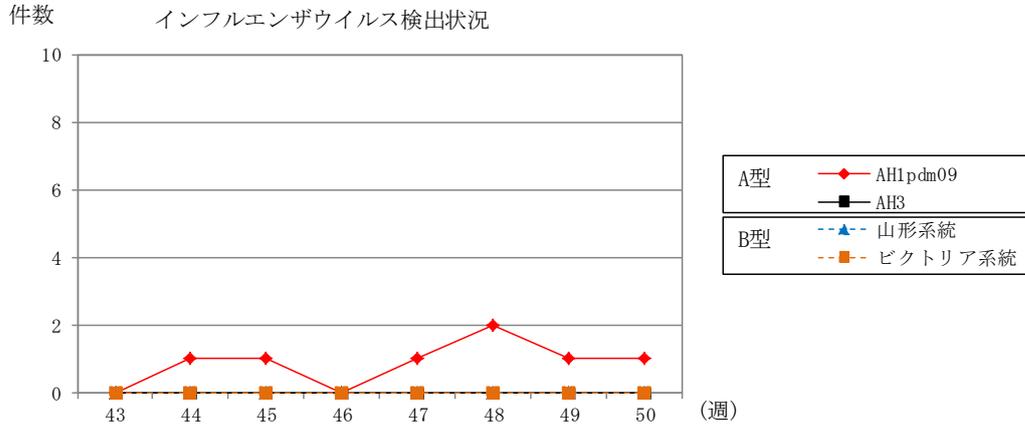
年齢区分別(人)

週	43	44	45	46	47	48	49	50
年齢区分								
～5ヶ月							2	
～11ヶ月					2	2	3	3
1歳	1		3		2	5	11	5
2歳	2		1		2	4	10	3
3歳	2				8	10	6	10
4歳	1			1	7	12	4	13
5歳	1		1	1	3	9	4	3
6歳			1	4	8	9	6	7
7歳		1	4	1	6	7	8	9
8歳			5		7	5	6	5
9歳		1	3	1	8	8	4	9
10～14歳		2	7	9	18	18	21	17
15～19歳		1	1	2	3	3	4	1
20～29歳				2		1	3	5
30～39歳		2	3	1	3	10	7	5
40～49歳	2	1	5	4		2		3
50～59歳		1	1	2		2	2	3
60～69歳				1		3	3	7
70～79歳				1		1	3	3
80歳以上	1						1	1

VI 県内インフルエンザウイルス検出状況（県が指定した医療機関（指定提出機関）の提出検体の検出数）

インフルエンザウイルス		2018								直近5週間 合計	2018/2019 シーズン 合計
		43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週		
提出検体数		0	1	1	0	1	2	2	1	6	10
A型	AH1pdm09		1	1		1	2	1	1	5	9
	AH3									0	0
B型	山形系統									0	0
	ビクトリア系統									0	0
合計		0	1	1	0	1	2	1	1	5	9

注) 2018/2019シーズンは2018年第36週（9/3～9/9）～2019年第35週（8/26～9/1）



VII 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2018年第47週～2018年第50週）

週	期間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
47	H30.11.19 ~ H30.11.25	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人 侵袭性肺炎球菌感染症1人	水痘(入院例)1人	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人 侵袭性肺炎球菌感染症1人 梅毒1人 百日咳1人			百日咳3人
48	H30.11.26 ~ H30.12.2	百日咳1人	デング熱1人 梅毒1人	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人			百日咳2人
49	H30.12.3 ~ H30.12.9	レジオネラ症1人 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人	急性脳炎1人	アメーバ赤痢1人 百日咳1人			百日咳6人
50	H30.12.10 ~ H30.12.16	百日咳1人	腸管出血性大腸菌感染症1人 急性脳炎1人				百日咳4人

・第49週に弘前保健所管内で急性脳炎1人、八戸市保健所管内でアメーバ赤痢1人、むつ保健所管内で百日咳3人の届出がありましたので追加しました。

・第45週に八戸市保健所管内でカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人の届出がありましたのでIXの青森県の表に追加計上しました。

VIII 結核(二類全数把握対象疾患)（2018年第47週～2018年第50週） (人)

週	期間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
47	H30.11.19 ~ H30.11.25	1	3		1		
48	H30.11.26 ~ H30.12.2	1	2	2		3	
49	H30.12.3 ~ H30.12.9	3	1	2	2	1	
50	H30.12.10 ~ H30.12.16	5				2	1

・第47週に弘前保健所管内で結核1人の届出がありましたので追加しました。

Ⅷ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2018年第1週～2018年第49週までの累計）

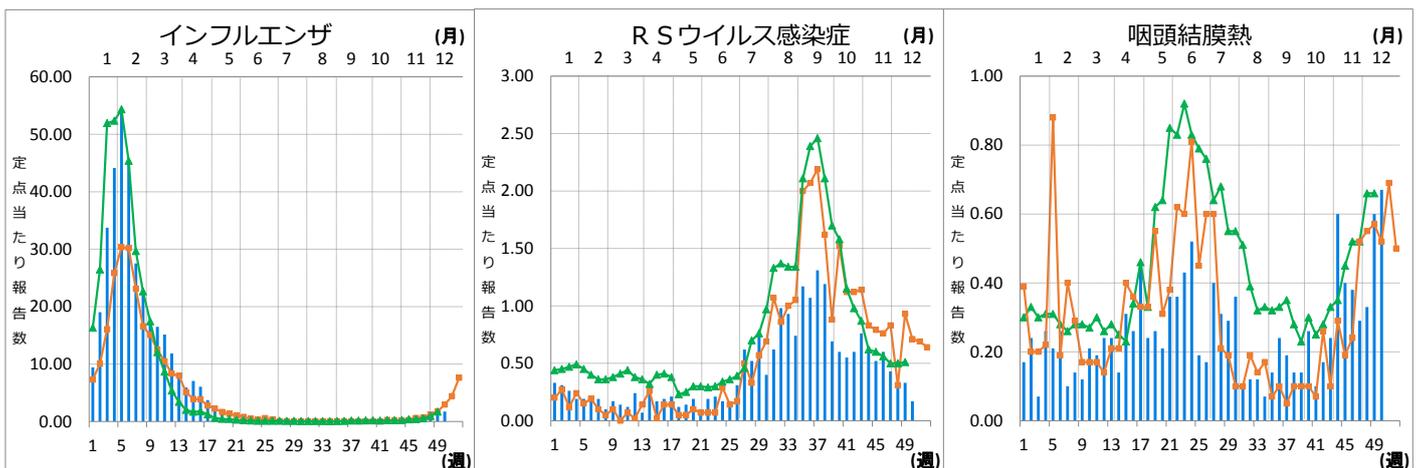
分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	オウム病
累積報告数	20427	4	253	3768	34	22	418	898	12	6
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	Q熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症
累積報告数	6	3	2	76	1	3	354	191	297	3
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺
累積報告数	2	47	13	2	2034	30	780	244	2099	128
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）
累積報告数	605	24	200	640	1198	66	447	32	3057	420
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症		
累積報告数	6505	167	122	73	10782	2586	274	23		

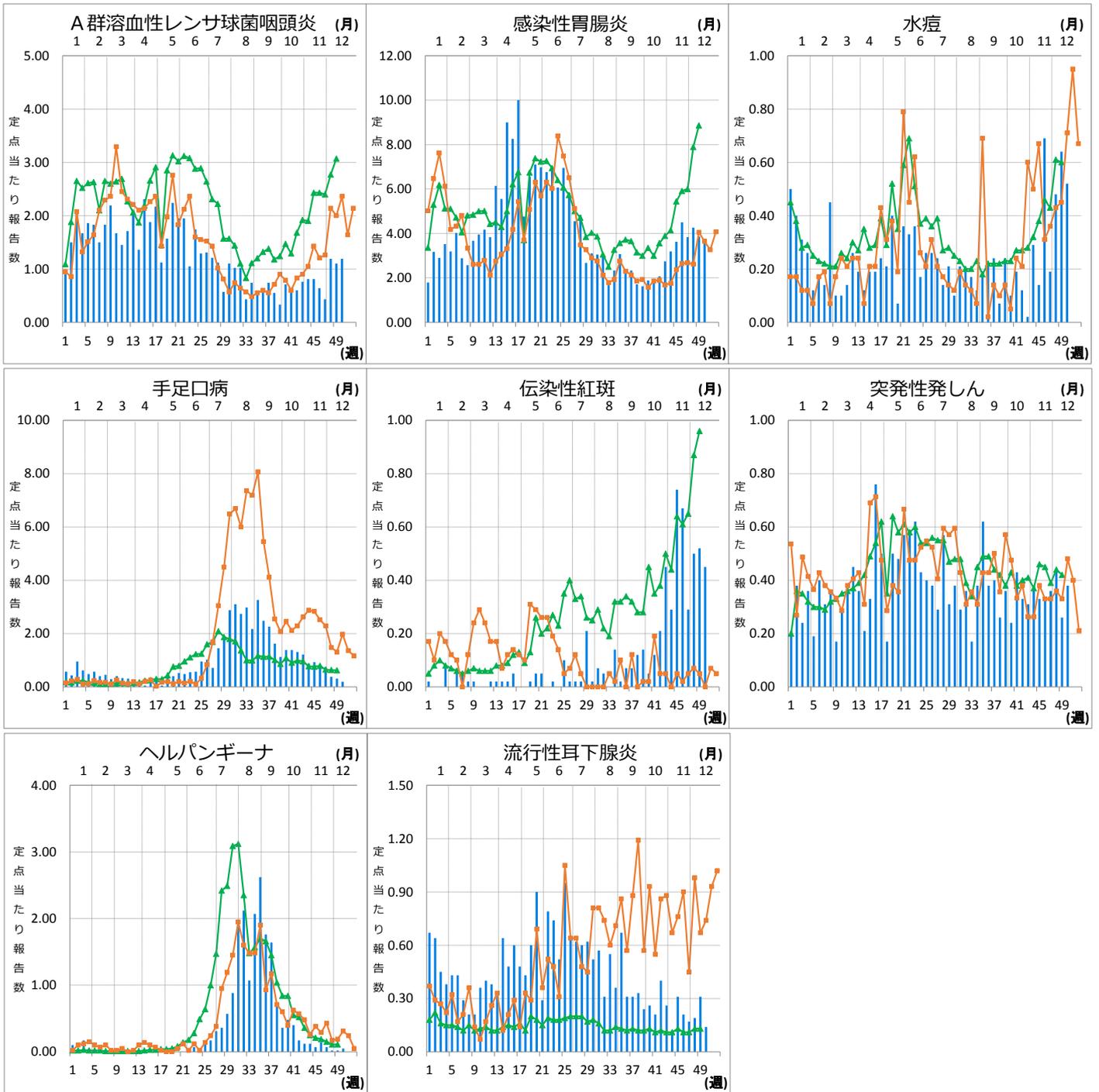
青森県（2018年第1週～2018年第50週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	五類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	E型肝炎	A型肝炎	つつが虫病	デング熱	レジオネラ症	アメーバ赤痢
累積報告数	206	3	35	1	2	1	5	1	7	4
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）
累積報告数	26	1	3	9	3	4	4	1	15	5
分類	五類	五類	五類	五類						
疾病名	梅毒	播種性クリプトコックス症	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳						
累積報告数	35	1	5	82						

Ⅸ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2018年第50週、ただし全国は前週）

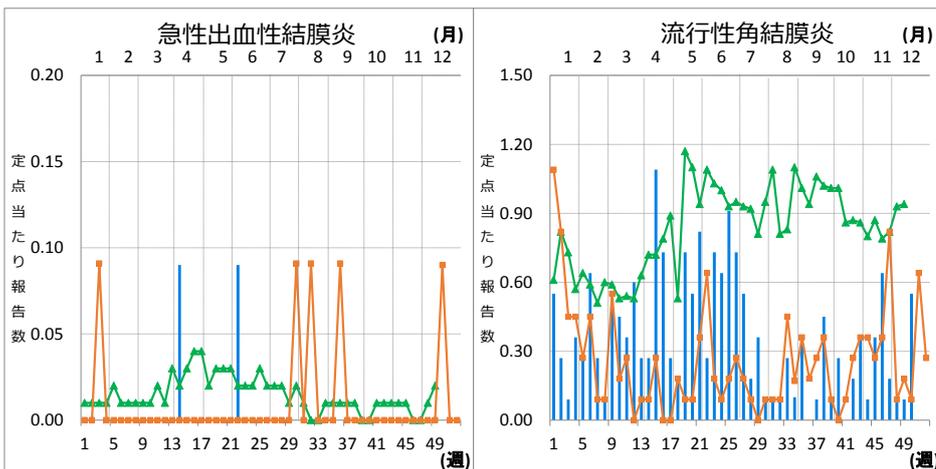
グラフの説明 ← は2018年青森県、■は2017年青森県、▲は2018年全国





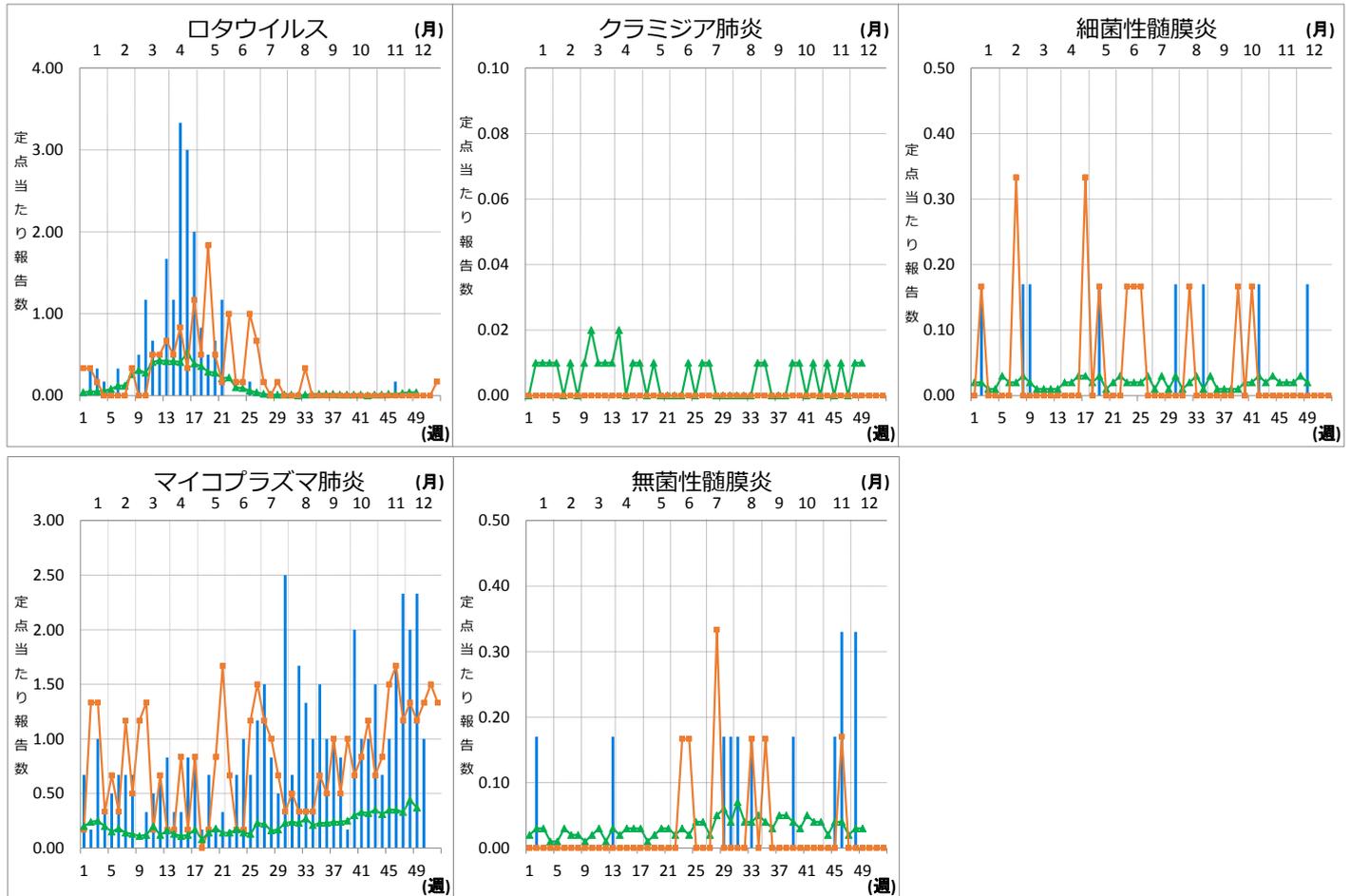
XI 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2018年第50週、ただし全国は前週)

グラフの説明 は2018年青森県、 は2017年青森県、 は2018年全国



XII 基幹定点把握対象疾患週別推移（2018年第50週、ただし全国は前週）

グラフの説明 —は2018年青森県、■—■は2017年青森県、▲—▲は2018年全国



XIII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成30年第50週
報告はありませんでした。

平成30年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-12週	13-17週	18-21週	22-25週	26-30週	31-34週	35-39週	40-43週	44-47週	48週	
介護・老人福祉関係施設	件数	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	発症者数	34	0	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	70
児童・婦人関係施設等	件数	0	0	0	4	2	2	0	0	0	1	0	0	9
	発症者数	0	0	0	56	21	28	0	0	0	26	0	0	131
障害関係施設	件数	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	発症者数	22	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	3	1	2	4	2	2	0	0	0	1	0	0	15
	発症者数	56	15	36	56	21	28	0	0	0	26	0	0	238